



東京部会(第 93 回)

日 時:	2017 年 7 月 14 日 (木) 19:15-21:15
場 所:	日本大学経済学部本館 2 階 A 会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 篠原総一(京都学園大学)、加藤一誠(慶応義塾大学)、佐藤英司(福島大学)、鈴木深(東京証券取引所)、岡部ちはる(東京証券取引所)、杉田孝之(千葉県立津田沼高校)、高橋勝也(都立武蔵中・高)、塙枝里子(都立府中東高校)、落合隆(神奈川県立相模原青陵高校)、中沖栄(清水書院)、後藤洋政(慶応義塾大学)、鈴木孝治(日本経済教育センター)、絹川温子(京都学園大学)、新井明(上智大学非常勤講師)、以上14名。

(1) 夏の経済教室の準備状況の確認を行った。

岡部ちはる氏(東京証券取引所)から7月14日現在の申込数が発表された。大阪中学87名、大阪高校70名、東京高校①180名、東京高校②173名、東京中学①1555名、東京中学②138名、名古屋中学32名、名古屋高校43名である。ほぼ例年と同じような申し込み状況であるが、大阪中学、名古屋会場の動員数に関しては昨年より下回っていて、参加者の確保を様々なルートで取り組みことが確認された。また、各講演者の原稿締め切りなども確認された。

(2) 夏の教室の「大学入試問題から授業改善を考える」の佐藤先生(福島大学)の担当部分に関して、資料を基に内容の紹介が行われた。

今回取り上げる問題は、法政大学の2017年の保育所に関する問題をメインに、関連させて時間があれば中央大学の最低賃金問題も取り上げる予定で、問題の解説が行われた。報告のあとの検討では、テーマとしては興味深い、需給曲線やそのシフトで問題を考えさせるのは今の高校生の実態や教員の経済学の知識からはレベルが高すぎるのではないかと、待機児童の問題を経済のモデルで考えさせるには前提の理解が必要で、大学生には使える問題だが高校生には難しいかもしれないとの指摘がされた。また、設問で出されている、無認可保育所と補助金の問題を高校の授業としてどう組み込むかなど、コラボで予定されている鍋島氏(教育実践研究オフィスF)の講義の内容組み合わせ、高校生レベルで使えるための提言を紹介してほしいという要望も出された。これらの声を受けて、本番までにさらに検討を加えることになった。

(3) 主権者教育に取り組んでいる杉田先生(津田沼高校)と塙先生(府中東高校)から、実践報告があった。

杉田先生からは、期末考査前の投げ込みで行った「代議制民主主義を考える」の授業紹介と生徒の反応が示された。代議制民主主義が委任と責任の連鎖で成り立っていること、それが機能するためには、立法府での熟議と主権者の行動であることを理解させようとする授業である。生徒には、「投票で参加する以外で、政治、政治家を監視する方法はあるだろうか」をテーマとしてレポートを書かせている。生徒レポートでは、投票日以外でも主権者であれという資料文としてとりあげたロザンヴァール氏のインタビューに共感するものが多く寄せられたとのことであった。

塙先生からは、前回の東京部会で報告した授業の実際と生徒の反応の一部が紹介された。この授業は、ライカー・オードショックモデルでは合理的個人は選挙に行かない方がトクとでるが、現実には選挙に行く人が多いのはなぜだろうと問題を提起からはじまる。その理由を考えるヒントとして最後通牒ゲームをやらせて、利己性と利他性の両方を人は備えていることを確認して、投票行動に結び付けようとするねらいの授業である。生徒は、ライカー・オードショックモデルに意外と反応(そーなんだ)しつつ、ゲームに取り組んだという。テストでの論述の分析これからのことであるが、紹介された一部では、若者の政治参加に関する生徒の意欲の高まりが感じられるものが多く見られた。

検討では、実践は面白がややマニアックになっているのではないかと、取組は評価できるが単元や指導計画まで



提示しないと説得的でないなどの意見が出された。篠原代表からは、委任と責任の連鎖の指摘は政治だけでなく所有と経営の関係にも同じ問題があり、そのような学習に発展させると理解が進むとの指摘があった。杉田先生からは、政治学に広がった問題を、最後にどのように教科書と経済に収めてゆくか、課題としたいとの回答があった。

(4) 前回の東京部会で承認された、全公社研とネットワークとの共催の主権者教育と経済教育をテーマとした研究大会に関して、落合先生(相模原青陵高校)から概要の説明があった。

日時は12月27日(水)、13:00~16:45。場所は慶應義塾大学三田キャンパス東館ホール。講演講師に坂井豊貴氏の予定(これから交渉)、3名程度の先生からの授業実践報告を行うというものである。内容の詳細はさらに今後詰めることになった。また、ネットワークから、この集会を「冬休みの経済教室」として、共催者として東京証券取引所を加えて実施したいとの提案もされて、了解された。

今回の東京部会も、佐藤先生(福島大学)や東京部会関係の先生方の報告、それに関する検討、討論など充実した部会となった。

次回開催予定：9月9日(土)15:00~17:00。会場は慶應義塾大学三田キャンパス研究棟446会議室。夏の教室の総括、冬の教室の準備など。10月は14日(土)に予定。会場、時間とも9月と同じ。なお、慶応大学の会場には受付に断らずに直接行ってほしいとの要請がされている。